

お客様各位

2024 年 3 月 26 日

パスロジ株式会社

PassLogic サポートグループ

「OS のユーザ ID : passlogic」の注意事項について

平素より PassLogic をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

「OS のユーザ ID : passlogic」の注意事項についてお知らせいたします。

PassLogic 製品は、インストール時に、“passlogic”という ID の OS ユーザアカウントを作成し、PassLogic の DB 管理に使用します。

このユーザアカウントやパスワードの有効期限は、OS に設定されているアカウント・パスワードポリシーに準拠します。

OS の設定状況および、PassLogic のバージョンによって、以下の影響を受けることがありますので、ご注意ください。

■対象バージョン

PassLogic エンタープライズ版 Ver.1.2.3 以降

■問題が発生する条件

- ・ OS のアカウント・パスワードポリシーを設定している
- ・ ID“passlogic”のアカウントやパスワードに有効期限を設定しており、かつその有効期限が切れている

■発生する問題

- ① 冗長構成時のリカバリ処理が動作しません。(PassLogic エンタープライズ版 Ver.1.2.3 以降)
- ② PassLogic が正しく起動しません。(PassLogic エンタープライズ版 Ver.4.0.1 以降)

なお、【OS のアカウント・パスワードポリシーを明示的に設定していない場合】は、アカウントやパスワードの有効期限が無期限（OS のデフォルト）になりますので、本事象の影響を受けることはありません。

■確認方法

root 権限で以下のコマンドを実行して、アカウントとパスワードの有効期限を確認してください。

```
chage -l passlogic
```

■対処方法

アカウント及びパスワードの有効期限が近い、もしくは過ぎている場合には、お客様で設定しているポリシーに従い、root 権限で変更してください。

① アカウントの有効期限の変更は、以下の方法で可能です。

```
chage -E YYYY-MM-DD passlogic
```

※参考：有効期限を無期限にするには、日付の代わりに「-1」を入力します

```
chage -E -1 passlogic
```

②パスワードの有効期限の変更には、パスワードの有効期間を変更する方法とパスワードを変更する方法があります。

・パスワード有効期限の変更は、以下の方法で可能です。

```
chage -M {パスワードの有効期間(日数)} passlogic
```

※参考；有効期限を無期限にするには、日数に「99999」を入力します。

```
chage -M 99999 passlogic
```

・パスワードの変更は、以下の方法で可能です。

```
passwd passlogic
```

(本件に関するお問い合わせ窓口)

その他、ご不明な点やご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

support@passlogy.com

※お問い合わせの際は、下記の情報をお知らせいただくと、円滑な回答が可能となりますので、ご協力ください。

- ・ シリアル番号
- ・ PassLogic バージョン情報：
- ・ OS バージョン情報：

引き続き PassLogic をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。